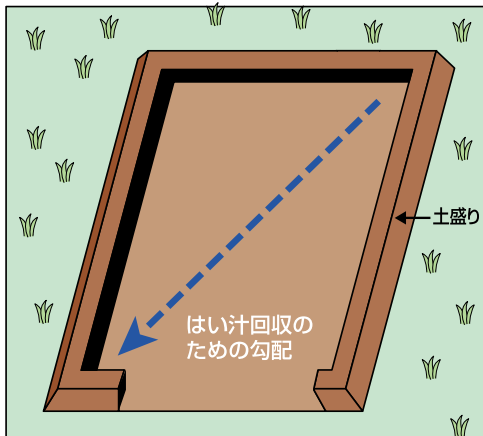


〈参考2〉 シートを利用したふん尿処理施設について

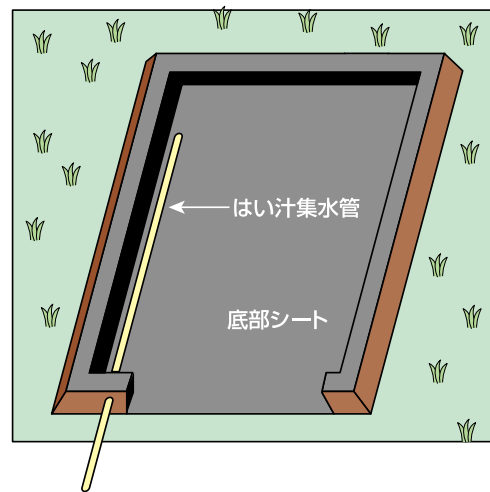
1 シート利用ふん尿処理施設

実証展示場所：道立畜産試験場

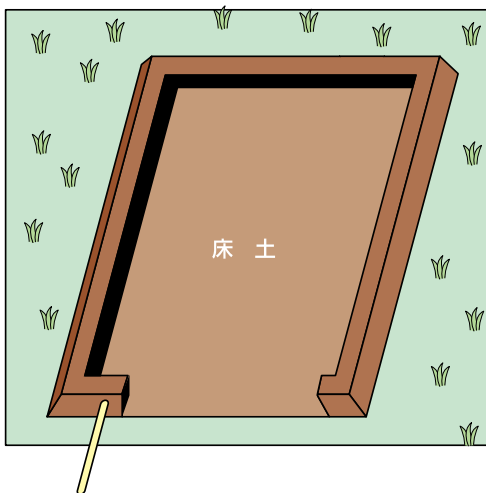
①床面を準備し、周囲に盛り土する。



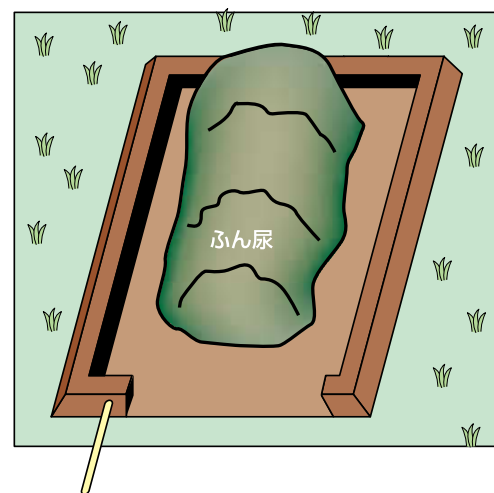
②底部シートを敷き、集水管を設置。



③火山灰などで埋戻し、踏み固める。



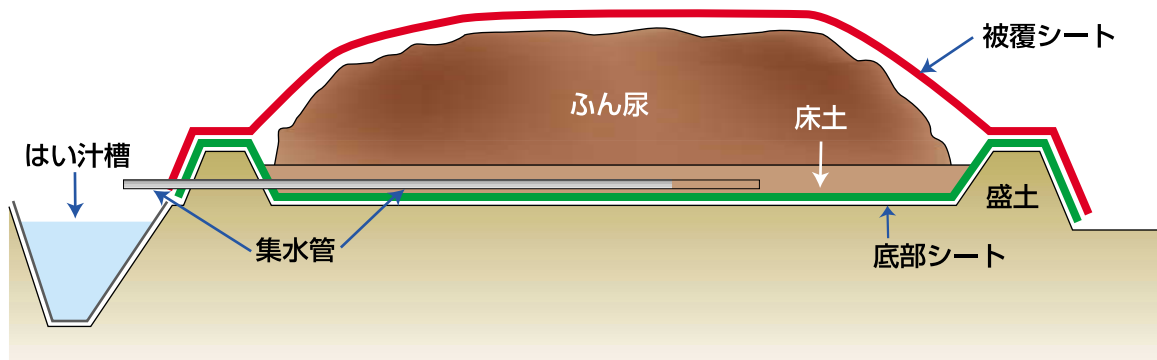
④ふん尿を堆積し、土手で被覆シートで覆う。



●シート利用ふん尿処理施設



●断面図



シート利用ふん尿処理施設を設置する場所は、次のように造成します。

- ①床面を準備します。床は、はい汁が集まるように一方向に傾斜をつけます。周囲から雨水が流れ込まないように周囲に盛り土をします。
- ②床や側面からふん尿やはい汁が漏れないよう底部シートを全面に敷きます。暗渠排水用の穴あきパイプを設置し、はい汁はいい汁槽に流れ込むようにします。
- ③掘り込み部を火山灰等、水はけのよい土で埋戻し(床土)、トラクタ等で踏み固めます。
- ④ふん尿を堆積し、その上に被覆シートをかけて雨水が入らないようにします。

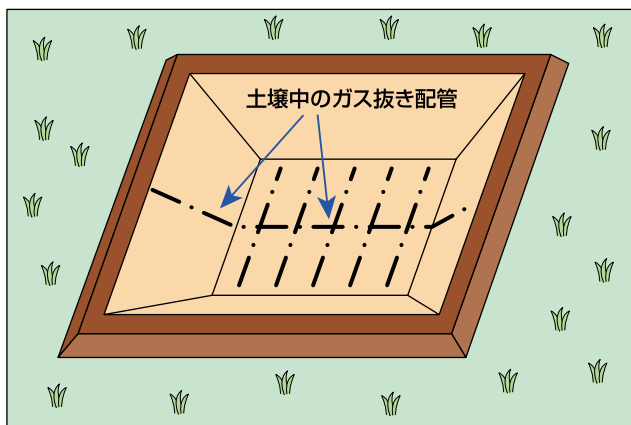
【注意点】

- ア はい汁が床土の上に溜まるときは、はい汁槽に直接流れ込むようにします。
- イ はい汁は、定期的にくみ取り草地や圃場に散布します。

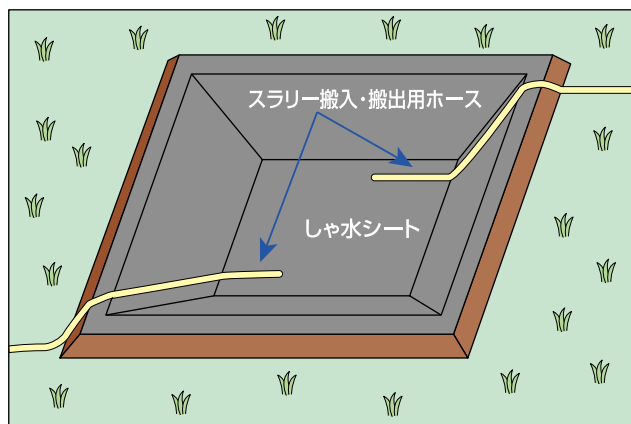
2 シート利用スラリー・尿貯留施設

実証展示場所：道立根釧農業試験場

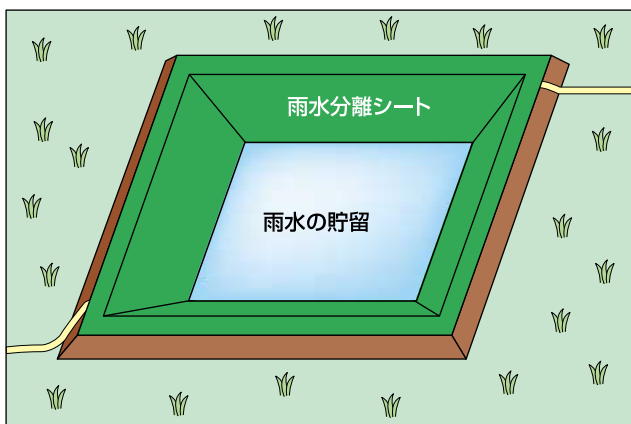
- ①スラリーの貯留深が2.5～3.0mになるように掘り込み、ガス抜き配管を入れる。



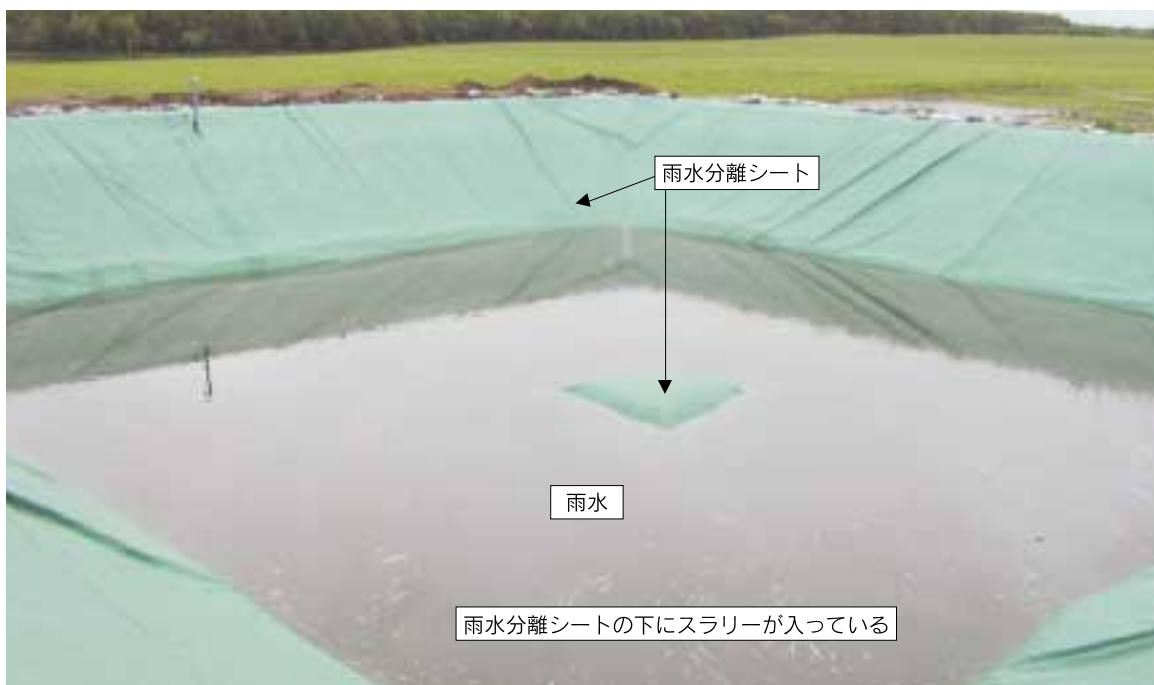
- ②しゃ水シートを敷き、スラリー搬入・搬出用ホースを設置する。



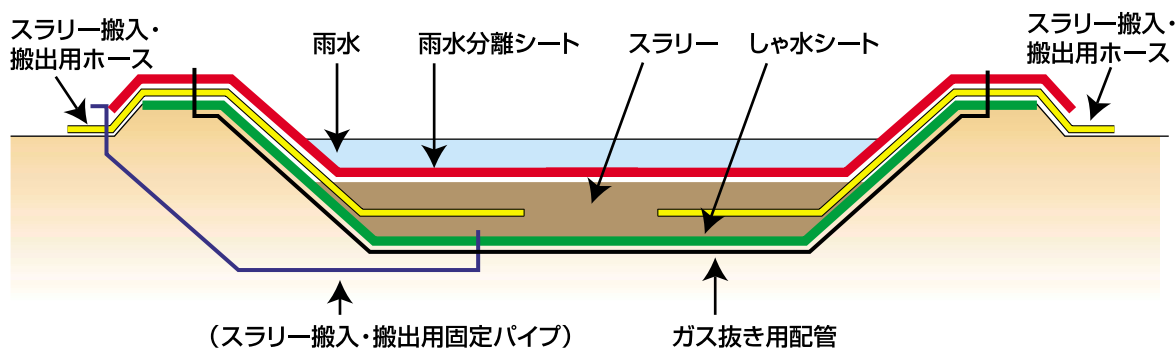
- ③雨水分離シートを敷いたのち、スラリーを入れる。
雨水分離シートの上に雨水がたまる。



●シート利用スラリー・尿貯留施設



●断面図



シートによりスラリーを貯留する場所は、次のように造成します。

- ①貯留深さが2.5～3.0mとなるように地面を掘り下げます。のり面は傾斜をつけます。地面から発生するガスでシートが浮かないように暗渠用の穴あきパイプでガス抜き配管をします。
- ②しゃ水シートで全面を覆い、スラリー搬入・搬出用ホースを設置します（スラリー搬入・搬出用固定パイプとすることもできます）。
- ③雨水が混入しないようにする場合は、さらに雨水分離シートをかけます。しゃ水シートと雨水分離シートの間にスラリーを入れます。

【注意点】

牛舎から直接ふん尿を投入すると、糞と尿が分離しやすくなります。このため、一時的な貯留槽を造り、十分混合できるようにするとよいでしょう。